

社会福祉法人 岡山こども協会

○あかいわ児童発達支援センター もみじの家

・放課後等デイサービス こぶしの家

○放課後等デイサービス あんずの家

○児童発達支援・放課後等デイサービス かえでの家



作成年月日 令和7年2月25日

わたしたち岡山こども協会は

いつでもだれでも

私たち法人を必要とするすべての方に門を開いています。

一人ひとりを大切に

こどもたち一人ひとりが、友だちとともに豊かな経験ができるようにします。

おとなも育つ

親・保育者・地域のこどもをとりまくおとなが、こどもとともに育つ場所にします。

新たな一歩

社会や地域のニーズに目を向け、社会福祉施設として、幅広い世代を支える事業を進めます。

を目指します。

法人理念

『生きる力』を育みます。

生活する力

【健康・生活】身辺自立、社会生活に必要なスキルをスモールステップで身につけられるよう支援します。

【認知・行動】生活スキルやマナー、公共機関の利用方法など社会生活に必要なスキルをご家族と協力しながら伝えていきます。

人とかかわる力

【言語・コミュニケーション】自己表現の方法をこどもや保護者と一緒に考えていきます。

【人間関係・社会性】自由時間の過ごし方や友だちとの交流の仕方など、小集団の中で身につけられるよう支援します。

【人間関係・社会性】人とより良い関係が作れるようこどもにあった方法で伝えます。

学ぶ力

【健康・生活】個々のこどもが活動しやすい環境設定に努めます。

【人間関係・社会性】「楽しめること」「わかること」を見つけ、そのことがこどもの「強み」になるよう支援します。

【言語・コミュニケーション】質問したり、援助要求を出したりする方法を身につけられるよう支援します。

【運動・感覚】あそびや活動を通して、指先の巧緻性や身体を使う力を養います。



家族支援

- ・懇談の実施
- ・連絡帳を介したこどもの情報共有
- ・支援内容に関する情報発信
- ・つながるカフェ

移行支援

- ・ライフステージの切り替えを見据えた取り組み
- ・在籍園・校や就学先、就労先との情報共有

地域支援・地域連携

- ・在籍園・校との情報共有
- ・地域資源の活用
- ・同敷地内療育施設との交流

職員の質の向上に資する取組

- ・経験年数に応じたフォローアップ研修や法人内研修の実施
- ・障がい理解を深める県内外の研修への参加

連携した療育の実施

あかいわ児童発達支援センターでは就学前から18歳までのお子さんを対象に継続した療育を実施しています。相談支援事業、保育所等訪問支援事業、所属園、在籍校との連携など様々な角度から総合的に一人ひとりのこどもの育ちの連続性を意識した支援を行っています。

主な行事等

- ・季節に応じたイベント ・夏まつり
- ・おでかけ体験（こぶし） ・避難訓練（月1回）
- ・入所児歓迎会、卒所式 他

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表 令和6年3月15日

事業所名 あかいわ児童発達支援センター(児童発達支援) 家庭数 91 回収数 56 割合 61.5%

内容		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されているか	62	3	0	1	・広々とした空間があり良い。	
		93.9%	4.5%	0.0%	1.5%		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	47	16	0	3	・言語聴覚士さんが不在になっているのが、惜しいです。 ・職員の配置数が少ない為、一日預かりが出来ない状況。	・職員体制や配置について、工夫しながら一人ひとりの子どもへの支援を丁寧に行えるようにします。
		71.2%	24.2%	0.0%	4.5%		
3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境(子ども本人にわかりやすくすること)になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	60	0	0	6	・車椅子の利用はなかなかないかと思っておりますので、今後利用する方の為にコメントさせていただきます。バリアフリー化については、入り口が車椅子が占領してしまうので、他の方の邪魔になってしまうので少し気になります。また、天気が悪い際の登園はかなり濡れてしまうので少しストレスを感じます。気づいた先生がお手伝いに来てくださるので助かります。ありがとうございます。	・ご苦勞、お不便をおかけし申し訳ありませんでした。計画的に施設内外の整備について対応します。入口につきましても、車いすの方に限らず、時間帯によっては混みあうことがあり、ご不便をおかけしている現状があります。対応等につきましても職員と検討します。	
	90.9%	0.0%	0.0%	9.1%			
4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	63	1	0	2			
	95.5%	1.5%	0.0%	3.0%			
適切な 支援の 提供	5 こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が作成されているか	65	1	0	0	・子をしっかりと見てくださり、こちらが気づいていなかったことが分かったり、段階に応じた支援を考えてくれていて、ありがたいです。	
		98.5%	1.5%	0.0%	0.0%		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	65	1	0	0		
		98%	1.5%	0.0%	0.0%		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	53	4	0	9	・理解まではまだ難しいですが、先生とのやりとりを覚えて教えてくれるようになったので、確実に成長しています。	・計画・支援について、保護者や子どもたちに分かりやすく説明できるよう、工夫します。
		80.3%	6.1%	0.0%	13.6%		
8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	62	1	0	3	・今日は〇〇したよ！と毎回違うことを聞くので、工夫されていると思います。		
	93.9%	1.5%	0.0%	4.5%			
9 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	24	10	4	28	・土曜療育のため不明です。	・今年度はもみじの家のみ利用の年長児を中心に、他園に行く機会を設けました。今後も計画的に実施します。	
	36.4%	15.2%	6.1%	42.4%			
保護者 への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	63	3	0	0	・利用時にはあったかと。	
		95.5%	4.5%	0.0%	0.0%		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	59	1	0	6		
		89.4%	1.5%	0.0%	9.1%		
12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	36	7	4	19		・座談会は設けたのですが、ペアレントトレーニングはできていないので、計画的に実施します。	
	54.5%	10.6%	6.1%	28.8%			

13	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができているか	60	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・送り迎えの時情報交換ができて助かっています。 ・自分で送迎のため、先生にお会いできるので出来ていると思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなかお会いできない保護者の方とも、工夫しながら、こどものことについて話ができるようにします。
		90.9%	6.1%	1.5%	1.5%		
14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	60	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・就学時についての相談も乗っていただき助かりました。 ・面談では、色々聞いていただきました。普段も、送迎で行けるので、様子を教えてくれたり相談事を聞いていただけています。 	
		90.9%	9.1%	0.0%	0.0%		
15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	21	14	6	25	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの土曜療育の時間の関係上なのかもしれませんが、父母の会ではないが、説明会等の際の時間が短く、意見交換の時間も不足していると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間のプログラムで、じっくり時間が取れていませんでした。進め方について、再度検討し、保護者の方々がつながれる機会を今後も作りまします。
		31.8%	21.2%	9.1%	37.9%		
16	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	57	2	0	7	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の面談の際に幼稚園への視察をお願いしましたが、まだ実施はされていないようなので「どちらともいえない」にしています。 ・どうしても外せない用事など困った時は無理して一日預かって貰って感謝している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視察の件、申し訳ありませんでした。調整等すぐに対応できるようにします。
		86.4%	3.0%	0.0%	10.6%		
17	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	60	3	0	3		
		90.9%	4.5%	0.0%	4.5%		
18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されているか	55	4	1	6		
		83.3%	6.1%	1.5%	9.1%		
19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	62	1	0	3		
		93.9%	1.5%	0.0%	4.5%		
非常時等の対応 20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。(また、発生を想定した訓練が実施されているか。)	40	5	1	20		
		60.6%	7.6%	1.5%	30.3%		
21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	40	4	0	22		
		60.6%	6.1%	0.0%	33.3%		
22	こどもは通所を楽しみにしているか	59	5	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園に行くことが難しい日でも、もみじの家は行く！と積極的です。スモールステップを踏ませていただいて本人も自信につながっているようです。いつもお世話になり、ありがとうございます。 ・行きたくないといったことはなく、毎回帰ってくると何をしたら笑顔で教えてくれます。 ・とても大好きな時間で、もみじの日を楽しみにしています。自分の存在を認められることが嬉しいのと、安心できる場所なのだと思います。先生方には、本当に感謝しています。 ・今日は1番に行くよ！と毎回楽しみにしています。 ・毎週楽しみにしていて前の日からワクワクしています。 ・もみじの家へ通うことが生活の中で一番の楽しみになっているようです。通所を始めてから子どもの生活にハリが出たように思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもたちがいい顔で登所してくれることが、私たちにとって本当に嬉しいことであり励みややりがいにつながっています。こどもの育ちを支える立場ではありますが、こどもたちに教えられたり、成長させてもらったりしています。
		89.4%	7.6%	0.0%	3.0%		

満足度	23	事業所の支援に満足しているか	63	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもいろいろとご配慮ありがとうございます。保育園や相談支援事業所と連携して頂き感謝しております。 ・言語聴覚士さんが不在で言葉の発達のサポートが気になります。実際言葉のレパトリーも文法なども少しずつですが伸びているので職員のみなさんが可能な範囲で対応してくださっているのかなと思います。いつもありがとうございます。 ・毎回ありがとうございます。 ・子ども親も前向きになれる支援をしていただき、大満足です。 ・手の回らないこと、小学校のかべが少しでも小さくなるよう、給食着の着脱、のりや消しゴムの使い方など、細かいことまで経験させていただき、本当に感謝しています。ありがとうございます。 ・子どもにとっては勿論、母にとってもなくてはならない場所です。もみじの家にご支援を頂くことができて本当に良かったです。ありがとうございました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方々には、日頃からご理解・ご協力をいただき本当に感謝しております。職員配置等の件で、十分な支援や対応ができていないところもあり申し訳ありません。それでも、こどもの育ちと一緒に考え、支え合える関係でいられることを、本当に嬉しく思っております。これから一人ひとりの育ちに合わせた支援ができるよう、職員で手を取り合い、また保護者の方々とも一緒に運営していきます。たくさんの貴重なご意見、ありがとうございました。
			95.5%	3.0%	0.0%	1.5%		
その他								

「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は保護者等の皆様に「保護者向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年3月15日

事業所名 あかいわ児童発達支援センター(児童発達支援)

項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		各部屋の基準人数内で、各グループの人数を調整している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		最低基準は守っているが、個々の特性に寄っては1対1必要な場合もある。その場合、足りていない時があるように感じる。	人員基準は満たしているため、グループや個々の特性や状態に合わせた職員配置の工夫をする。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		各部屋に応じて概ね行われていると思う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		グループに応じて環境設定をしている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		その都度改善しようと心がけた。明確な目標設定と振り返りがもう少しできるとよい。	目標設定や振り返りの方法を見直し、より実情に合ったものにする。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		年に一度、保護者評価を実施している。	保護者評価を職員会議で話し合い、改善につなげる。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		保護者に対しては結果表を配布している。ホームページにも掲載している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	外部評価は実施していない。	今後、第三者評価等の導入を検討する。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		オンライン研修や、施設外研修の機会を設けている。	定期的に、法人内や事業所内で研修会議の機会を設けている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか	○		定期的なアセスメントや困ったこと確認シートによる現状把握により計画を作成している。	支援計画作成の際には検討会議も実施し、より多角的な視野で作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		使用できている時と使用できていない時がある。	標準化されたアセスメントシートを必ず使用する。また、アセスメント方法についても見直しを行う。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		半年毎にモニタリングを行い、支援内容を設定している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		ミーティングなどにより支援について振り返り、確認を行っている。	毎日のミーティングで支援内容について、話し合う機会を設けている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		グループ毎に担当が話し合いプログラムを決めている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		同じ内容でもやり方を子どもたちの様子に合わせて工夫している。	
適切な支援の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか	○		小集団と個別の活動、言語療育を取り入れている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		グループの担当で打ち合わせと振り返りの時間を設けている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		その日にできていない時もあるが、折を見てできていると思う。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		徹底はできていないと思うが、必要最低限できていると思う。	記録を取るだけでなく、それを基に支援がより深まるよう、振り返りや検証を行う。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に一回または関係機関との連携等により、支援計画を見直し、必要に応じて変更している。	
関係機関や	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		その時によるが、担当職員が出ることができるようになっていると思う。	より多くの職員が参加し、連携が深まるように今後も調整をする。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		社会福祉課、子育て支援課、りんくステーション連携を図っている。	普段から関係機関との連携は引き続き行い、ケースに合わせてすぐに対応できるようにしておく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか→対象児利用なし	-	-		
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		連携できる施設や回数が増えているように思う。	

保護者との連携	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		卒所前にそれぞれの就学先にお渡しできるように資料を作成している。	
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		市内の事業所との情報交換会を行っている。	情報交換だけでなく、研修の機会も設けた。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等(放課後児童クラブや児童館)との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		限られたこどものみで、機会も少なくはあるが、行事やイベントに短時間参加したり、参加できるように計画したりしている。	主にもみじの家のみ利用の年長児が交流を行った。
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		自立支援協議会の各部会に参加している。	
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳や送迎時に情報共有ができています。	送迎時に会えない保護者もいるので、個別に相談や懇談の機会を設けている。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	○		利用児の保護者同士でのつながりの機会を設けることはできたがペアレントトレーニングまではあまりできていないように感じる。	ペアレントプログラムを使い、計画的に保護者支援を行う。
保護者への説明責任等	31	運営規程、(支援の内容)利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明できている。	
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		個別懇談で説明後、同意を得ている。	
	33	(定期的、)保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		定期的というよりは相談があればその都度必要に応じて行っている。	
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		コロナも落ち着いたので、もう少しできたらと思う。保護者会の再開はできた。	今年度再開できたので、より活動が広がるよう、保護者と連携する。
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		個別懇談や事業所内相談で相談を受けている。	
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月に一回施設だよりを発行している。	
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報には鍵の掛かる場所に保管している。	
	38	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚的に分かりやすくするなど工夫をしている。	
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		積極的にはできていない。	夏祭り、隣接の方々のみ招待できた。
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		マニュアルは誰でも閲覧できる場に置いている。	
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月に一回様々な場面を想定し、避難訓練を行なっている。	
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		共通認識事項として、事前に周知している。	
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アレルギーの診断書の基個別に対応している。	
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		職員会議などで確認している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		外部の研修に参加したり、ケース会議を行ったりしている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		担当児の中では身体拘束については記載したことがない。	身体拘束規程を基に、職員に周知しケース会議等で協議している。